

# J A 福島厚生連看護部教育体系

## 教育理念

厚生連看護部の理念（地域住民の生命と健康を守るために、専門職業人としての自覚と誇りを持って質の高い看護を提供いたします）に基づき、個々のキャリア開発を支援することにより、看護の質と向上と職務満足の向上を図る。

## 教育目的

専門職業人として、質の高い看護実践できる看護師を育成する。

## 教育目標

1. 専門職業人として、主体的かつ継続的に学習できる。
2. 対象者の健康レベルに応じた看護が展開できる。
3. 医療チームの一員としての役割と責任を自覚し、リーダーシップを発揮できる。
4. 研究的態度を持つことができる。
5. 後輩を育成することができる。

## 看護実践能力の構成要素

看護実践能力



基本的看護技術提供から特殊・専門的・高度な看護実践能力

組織的役割遂行能力



看護チームなどの最小組織から看護部、医療施設、地域、国内での看護職能団体の中での役割遂行能力

自己教育・研究能力



技術専門員としての自己の技術を高め、さらに看護への科学的追及を行う能力

## 段階別研修計画

レベルI-1  
指導を受けながら  
看護が実践できる

- 入職時研修
- 1・3・6・9か月研修
- 1年振り返り研修

レベルI-2  
チームメンバーとして  
の役割が果たせる

- ケース・スタディ
- グループワーク  
など

レベルII  
チームリーダーとして  
の役割が果たせる

- 看護記録の質監査
- グループワーク  
など

レベルIII  
リーダーとしての  
役割が果たせる

- 個人課題発表又は  
グループ発表
- 看護研究発表 など

レベルIV  
役割モデルが  
果たせる

- 課題研修
- グループワーク  
など

\* 専門性アップ研修  
\* 対象者別研修

- 臨床指導者養成講習会の受講資格
- 認定看護師研修会の受講資格

- 主任昇進試験の受験資格
- 教員養成講習会の受講資格